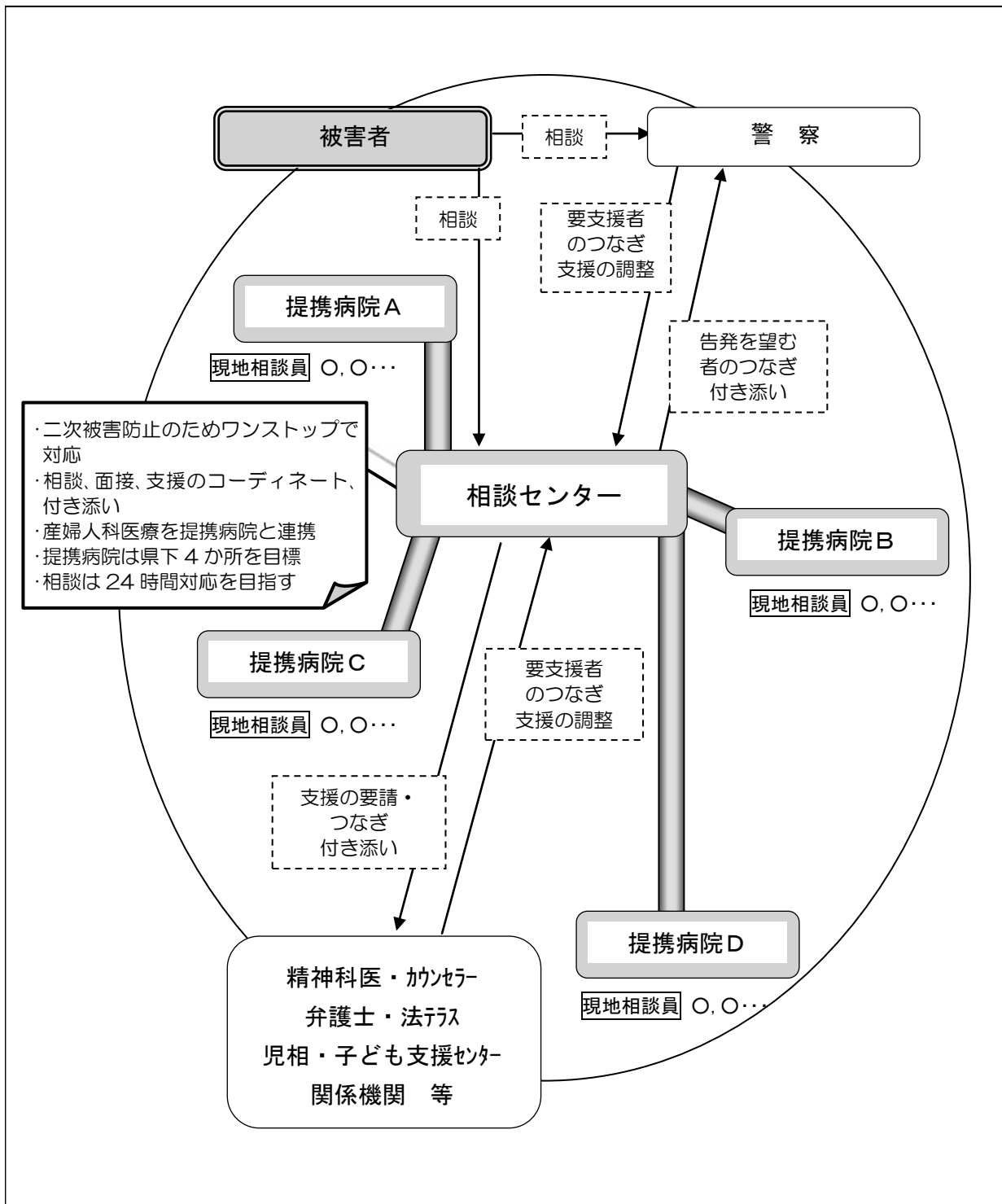


長野県

＜ワンストップ支援センターの設置形態について＞



長野県：関係者検討会議の運営（被害者支援体制の構築・強化）

1. モデル事業実施前の課題

本県における刑法犯（強姦罪、強制わいせつ罪）による性被害の状況は、平成 21 年からの過去 5 年の平均で年間約 100 件の性犯罪事件が認知されている。また、そのうちで被害者が 18 歳未満の事件は、約 40 件となっている。

性被害は、内閣府の調査結果（「男女間における暴力に関する調査報告書」）からも潜在化しやすいことが認められ、認知件数の他にも暗数として多くの性被害者が存在していることがうかがえる。

本県では、平成 28 年度中のワンストップ支援センターの開設に向け、関係機関からなる準備会議において開設に向けた協議・検討を行っている。

2. モデル事業の内容

○ 性犯罪被害者支援体制構築のための関係者検討会議による先進地視察の実施（全 2 回）

＜第 1 回先進地視察＞

（1）日 時 平成 27 年 9 月 3 日（木） 午後 2 時～午後 4 時まで

（2）視察先 性暴力被害者総合ケア ワンストップ びわ湖 SATOCO（滋賀県）

＜第 2 回先進地視察＞

（1）日 時 平成 27 年 9 月 17 日（木）、18 日（金）

（2）視察先 性暴力被害者支援センター ふくおか

（3）性暴力救援センター・さが さが mirai

3. モデル事業実施による成果目標（1 の課題に対応するもの）

他県の先進的な事例等を参考にした上で、更なる検討を進め、より効果的なワンストップ支援センターの設置を目指す。

提携病院の取組や、関係機関との連携体制等について、本県のワンストップ支援センター設置の参考とする。

4. 実施結果及び成果

○ 関係者検討会議による先進地視察の実施（全 2 回）

＜第 1 回先進地視察＞

（1）日 時 平成 27 年 9 月 3 日（木） 午後 2 時～午後 4 時まで

（2）視察先 性暴力被害者総合ケア ワンストップ びわ湖 SATOCO（滋賀県）

（3）参加者 検討会議委員 5 名 県関係課室 3 名

（4）内 容

- ・ 提携病院の取組について
- ・ 相談業務の取組について

- ・ 関係機関との連携のあり方（役割分担）について 等
- ・ 意見交換

＜第2回先進地視察＞

- (1) 日 時 平成27年9月17日（木）、18日（金）
- (2) 視察先 性暴力被害者支援センター ふくおか
(ア)性暴力救援センター・さが さが mirai
- (3) 参加者 検討会議委員 3名 県関係課室 3名
- (4) 内 容
 - ・ ワンストップ支援センターの取組について
 - ・ 提携病院の取組について
 - ・ 相談業務の取組について
 - ・ 関係機関との連携のあり方（役割分担）について等
 - ・ 意見交換

＜参加者の声等＞

急性期における24時間支援の必要性や、関係機関との連携のあり方、体制の核となる熱意ある人材の確保の必要性、人材確保・養成の重要性など、先進地の取組を通じて確認することができた。

5. モデル事業実施後の課題（現状）

- 本県の支援体制について、24時間支援とする方向性を関係者検討会議において確認できた。
- 今後、来年度中の開設に向け、必要な体制の具体的な検討、人材の確保・養成等を進めていく必要がある。